



2009.12.16

博報堂生活総合研究所 「生活動力2010」

「態度表明社会」

- “思い切って”自らの「態度」を、何かをはじめた・やめたといった行動として示し、そのことを他の人に「表明」する“態度表明者”は各4割強も存在。
- 2010年から生活者の行動様式は、現状黙認から「態度表明」という新しい幸せの発見行為へと変わる。

博報堂生活総合研究所では、毎年、年末から年初にかけて、翌年からの生活者の変化潮流と、それともなう企業や市場のビジネスチャンスをご提言する未来予測レポート「生活動力」を発刊しています。

最新刊「生活動力2010」のタイトルは、「態度表明社会」。世界同時不況から1年あまり経った今。地球環境問題やエネルギー問題などの生活基盤の揺らぎも相まって、社会が持っていたゆとりや安定が急速に縮小。あらゆる暮らしの側面で抜本的な改革が求められています。政権交代や裁判員制度、事業仕分けなど、これまでにない仕組み・体制作りへと社会全体が向かう中、生活者自身の行動様式も、これまでの「現状黙認」から自らの考えや価値観を公に明示して動く「態度表明」へと大きく変化しています。

では、日常生活や生き方において、生活者が行っている態度表明とは具体的にはどのようなものなのでしょうか。当研究所が2009年10月に実施した「態度表明」調査で、全国47都道府県の15-69歳男女3,340名から寄せられた13,357件の意見を読解したところ、思い切って何かをはじめたり、やめたりするという行動を明らかにしたことで、思いがけないメリットを獲得することができたとの声が目立ちました。調査結果から浮かび上がってきた、“態度を明らかにすることで新しい幸せへと向かう”生活者の姿について、以下、ご報告いたします。

「態度表明」調査のポイント

① 態度表明者の割合

“思い切って”自らの「態度」を、何かをはじめた・やめたといった行動として示し、そのことを他の人に「表明」する“態度表明者”は各4割強も存在。性年代、エリアなどの層別でも、大きな差は見られません。

② 態度表明の3ステップ

【そもそも発想】⇒【おおよげ行動】⇒【しあわせ発見】

生活者は、これまでの体制にただ従うのではなく、あらゆる物事をゼロベースから捉え直して、そもそもから考え、自らの主義主張を決め、思い切って行動に表すことで、思わぬしあわせを発見しています。

③ 態度表明によって得られる《5つの【しあわせ発見】》

態度表明の3ステップのゴールにある【しあわせ発見】に関する意見を讀み解いたところ、「新しい観点との出会い」「知識や技能の向上」「絆の広がり・深まり」「感謝・賞賛の喜び」「社会貢献の実感」の5つが浮き彫りになりました。「態度表明」とは時代の危機を乗り越える必然であると同時に、新しい幸せの発見行為でもあるわけです。

本件に関する
お問合せ先

株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所
株式会社博報堂 広報室

吉川・夏山 TEL:03-6441-6450
西尾・大野 TEL:03-6441-6161

① 態度表明者の割合

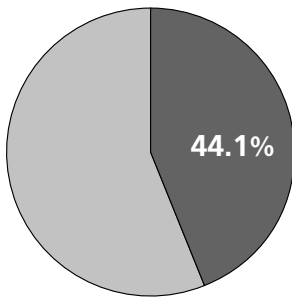
“思い切って”自らの「態度」を、何かをはじめた・やめたといった行動として示し、そのことを他の人に「表明」する“態度表明者”は各4割強も存在。性年代、エリアなどの層別でも、大きな差は見られません。

- ・「ここ数年で思い切って、はじめたことがあり、そのことを他の人に知らせた」人は44%。
- ・「ここ数年で思い切って、やめたことがあり、そのことを他の人に知らせた」人は42%。
- ・上記のように“思い切って”自らの「態度」を行動として示し、さらにそのことを他の人に「表明」する“態度表明者”は4割強も存在しています。
- ・性別では「はじめた」は、男性(41.5%)よりも女性(46.7%)で高く、性年代別では女性40代の「はじめた」(47.4%)、女性20代の「やめた」(47.3%)が同年代の男性よりも10ポイント程度高い傾向が見られます。
- ・しかし、全体としては、性年代でも、エリアでも、極端な差は見られません。
- ・態度表明は特定の生活者の行動特性ということではなく、生活者全般に共通する大きな変化潮流といえます。

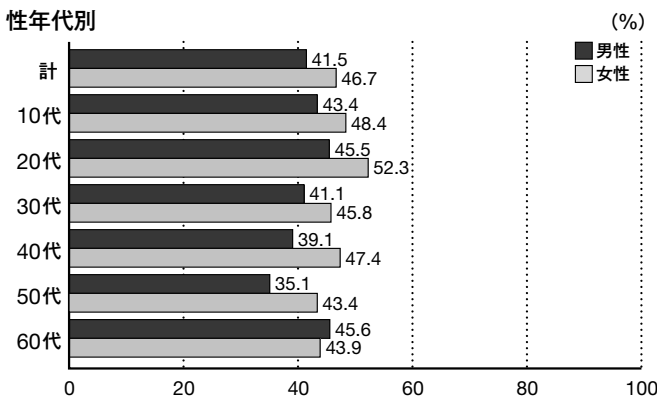
思い切ってはじめた

ここ数年で思い切って、はじめたことがあり、そのことを他の人に知らせた。

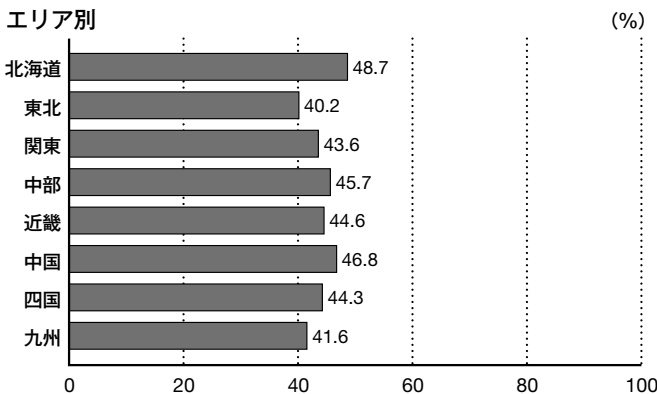
全体



性年代別



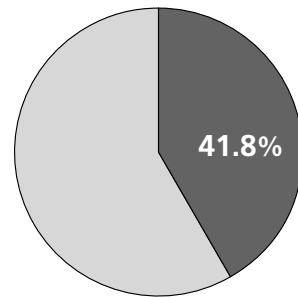
エリア別



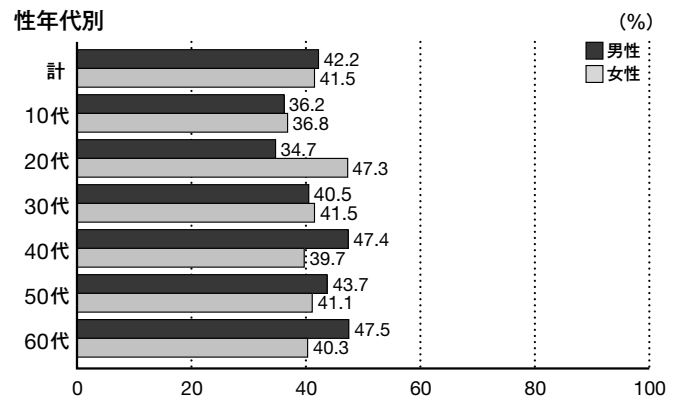
思い切ってやめた

ここ数年で思い切って、やめたことがあり、そのことを他の人に知らせた。

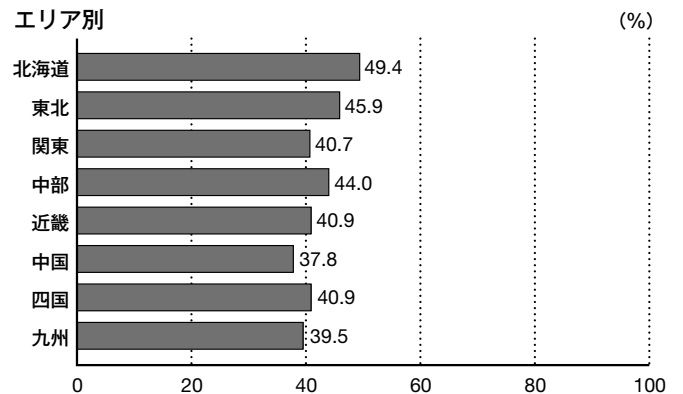
全体



性年代別



エリア別



② 態度表明の3ステップ

【そもそも発想】⇒【おおやけ行動】⇒【しあわせ発見】

生活者は、これまでの体制にただ従うのではなく、あらゆる物事をゼロベースから捉え直して、そもそもから考え、自らの主義主張を決め、思い切って行動に表すことで、思わぬしあわせを発見しています。

「思い切って、新たにはじめたことがある」「思い切って、やめたことがある」といった態度表明の具体内容に加え、その行動をやめたり、新たにはじめたりした理由やきっかけ、その結果得られたメリットとして寄せられた意見を分析すると、次の3ステップに大別できることがわかりました。

ステップ1 あらゆる物事をゼロベースから捉え直す【そもそも発想】を行う。

「学びの楽しさはどこへ?」「自分の身体を自己管理できてる?」「男らしさって?女らしさって?」など調査対象者が疑問を呈する【そもそも発想】は、紹介しきれないものも含め、どれもみな今を生きる日本人への問いかけのように思えるものが多く見られました。

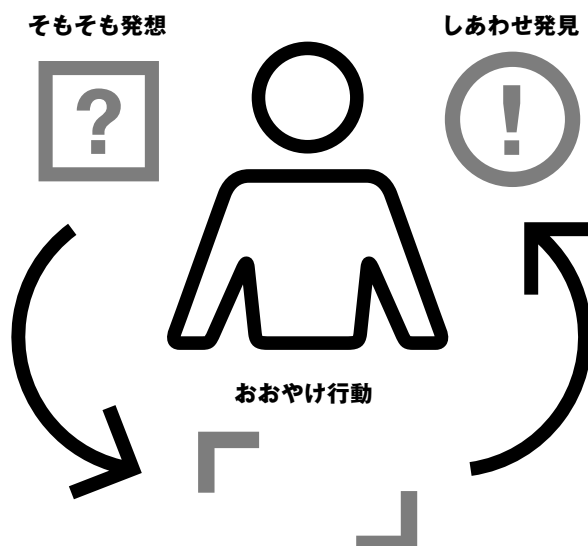
ステップ2 世間の常識や他人の意見を鵜呑みにせず、自らの主義主張を決め、【おおやけ行動】として表明する。

生活者は【そもそも発想】で浮かんだ疑問に対し、それを解消するために行動を起します。「進学塾をやめる」「ヨガを始める」「男性の料理教室に通う」など、不安や手間、労力、時間やお金の投資といったリスクを背負いながらも、自分の主義主張を行動で表明します。

ステップ3 思い切った行動によって、生活者が想定外のメリットや利益を得るといった【しあわせ発見】をする。

思い切った行動によって、「自分で計画を立てて物事を進めるという、勉強以外のスキルが身についた」「身体の健康のための行動が、心の安定につながった」「料理技能の習得へのこだわりが、夫婦円満へと発展した」などの意見があげられています。いずれも、行動の起点となった【そもそも発想】により獲得が想定できたメリットや利得に加え、思いがけず、新たに手に入れることのできたメリットや利得となっています。

※詳細は6～7ページの参考資料:「態度表明」の具体例をご参照ください。



③ 態度表明によって得られる《5つの【しあわせ発見】》

「新しい観点との出会い」「知識や技能の向上」「絆の広がり・深まり」「感謝・賞賛の喜び」「社会貢献の実感」。

- ・ 態度表明の3ステップのゴールにある【しあわせ発見】に関する意見を読み解いたところ、以下の5つが浮き彫りになってきました。
 - 「新しい観点との出会い」…… 物事の見方や視点が広がる、新しい価値観を得る、発見を得るなど。
 - 「知識や技能の向上」 …… 新しい知識や情報を入手する、資格を取得する、能力や資質、技能を身につけるなど。
 - 「絆の広がり・深まり」 …… 人と出会う、友達や仲間が増える、家族や友人との関係が深まるなど。
 - 「感謝・賞賛の喜び」 …… 人に感謝されたり、喜んでもらえたりする、人からほめられたり、評価されるなど。
 - 「社会貢献の実感」 …… 地域や社会など人の役に立てる喜びを感じる、社会の一員であることを実感するなど。
- ・ 「態度表明」とは時代の危機を乗り越える必然であると同時に、新しい幸せの発見行為でもあるわけです。
- ・ 別の観点に立てば、5つの【しあわせ発見】は、今後の消費を牽引するキーワードになっていくとも捉えられます。

【しあわせ発見】の具体例

	しあわせ発見①（「 」はおおやけ行動）	性別	年齢	都道府県
新しい観点との出会い	「インターネットでコンテンツを作り、情報発信し始めた」 いろいろな経験が 自分の価値観や将来の方針の形成 に大いに役に立った。	男性	17歳	東京都
	「徒歩30分以内の場所には、車を使わないで歩いて行くことにした」 家の近くで、 たくさん の発見をしました。	女性	40歳	山形県
	「着物の着付けを習い始めた」 着物の奥深さ、日本文化について知りたくなり、今まで素通りしていた新聞や雑誌の記事を読み、 新たな見方 をするようになった。	女性	50歳	兵庫県
知識や技能の向上	「留学生に日本語を教え始めた」 今まで気づかなかった 日本語の面白さ を発見した。いろいろな国の人たちのお国事情や文化、言語の違いを たくさん 知った。	女性	29歳	愛知県
	「テレビを処分した」 本を読み、勉強 する機会が増えた。資格の勉強をしている。	女性	33歳	東京都
	「外貨投資を始めた」 経済事情に興味を持てたことで、 金融の仕組み が以前より理解できた。	男性	35歳	神奈川県
絆の広がり・深まり	「手話を習い始めた」 いろいろな人と交流 することができた。	女性	19歳	福井県
	「着付け教室に通い始めた」 共通の趣味を持つ友達 ができ、幅広い年齢の方と親しくなれた。	女性	45歳	長崎県
	「思うことを詩に書き始めた」 共感してくれる仲間 が増えた。	女性	48歳	福岡県
感謝・賞賛の喜び	「映像編集を始めた」 編集した作品を送ると、 友達や家族 がとても喜んでくれた。	男性	26歳	鹿児島県
	「子供が生まれてからずっと専業主婦だったがパートで働き始めた」 老人ホームで働いているが、ちょっとした言葉かけやお世話でも お年寄りがとても喜んで下さって 、自分も嬉しい気持ちになれる。	女性	46歳	千葉県
	「結婚する時、母が持たせてくれた着物のリフォームを始めた」 海外旅行の際、身に付けているとエキゾチックと 現地の人 にほめられ、思いがけないコミュニケーションがある。 友人達にも好評 。	女性	60歳	東京都
社会貢献の実感	「アンケートモニターを去年から始めました」 世の中に自分の意見を少しでも参加 させることができる。	女性	25歳	長野県
	「社員たちにもっと活躍の場を提供したいと思い、早期退職した」 エコや社会環境問題に取り組む ことができる。今までの経験やネットワークを使って、 企業への働きかけ などもいろいろできる。	女性	64歳	大阪府
	「パソコンを始めた」 自治会などの 地域や家族 に役立ったという喜びを得た。	男性	66歳	兵庫県

「態度表明」調査 調査設計

■ 調査目的 日常生活において、生活者が行っている態度表明の具体事例を浮き彫りにする。

■ 調査地域 全国 47 都道府県

■ 調査方法 インターネット調査

■ 調査対象 15 歳から 69 歳までの男女 3,340 サンプル（有効回収数）。
全国を 8 地区に分割し、エリア別人口構成比に応じて割付。
性年代は 10 歳刻みで均等割付（10 代のみ、他の年代の半数）。

合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
3,340	154	266	1,069	604	540	222	88	397

■ 調査期間 2009 年 10 月 17 日（土）～ 18 日（日）

書籍「生活動力 2010」発行のご紹介

生活総合研究所は、書籍 生活動力 2010
「態度表明社会」— 賛成の連鎖が流れを変える— を発刊します。
態度表明社会に向かう人々の姿と、賛成の連鎖を生み出していくための
手掛かりを提言します。

生活動力 2010 態度表明社会 賛成の連鎖が流れを変える

発行所：株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所

価 格：8,400 円（税込）

書籍案内およびご購入について <http://seikatsusoken.jp/publication/>



参考資料：「態度表明」の具体例 ～男性～

男性

	そもそも発想②	➡	おおやけ行動「 」	➡	しあわせ発見①	年齢	都道府県
10-20代	自分の手で何かコンテンツを作ってみたいと思った。		インターネットでコンテンツを作り、情報発信しはじめた。		いろんな経験が自分の価値観や将来の方針の形成に大いに役に立った。また、ネット上の友達と情報交換をすることで、いろいろな情報を得ることができた。	17歳	東京都
	人と社会のために、役立ちたい。		会社を設立した。		友人とお金を得ることができた。	18歳	東京都
	物事を先延ばしにしても得はないと思った。		物事を先延ばしにするのをやめた。		生活のリズムが非常によくになり、健康的な生活を送ることができるようになった。	22歳	福岡県
	自己表現をしたいと思った。		ブログを始めた。		友達が増えた。	28歳	千葉県
30-40代	今の日本では、安心して老後を迎えることはできないのでは？日本経済が先細ると、国内投資だけではリスクが大きいかもしれない。		外貨投資をはじめた。		経済事情に興味を持てたことで、金融の仕組みが以前より理解できた。	35歳	神奈川県
	どこかに出向かずとも、身体のメンテナンスはできるはず。		ヨガを始めた。		些細なことで腹が立つことがなくなった。	36歳	神奈川県
	「英語を話せるようになる」という目的は達成しているのに、惰性で続けていることに気付いた。新しいことに挑戦したくなった。		20年間続けていた英会話学校の契約を更新しなかった。		自分の頭ではなく、体を鍛えなおすための時間とお金を手に入れた。	40歳	千葉県
	物の良さや質は自分の目で確かめられるはず。		高いブランドの服は買わなくなった。		マイホーム。かわいい我が子のために使うお金、ゴルフに使うお金も得た。	49歳	宮城県
50-60代	感動がほしい。		老眼が始まって読書から一時離れたが、最近再開した。		新しい本だけでなく、古い本を読み返してもいる。1回目と違う感想を持てるのがおもしろい。	60歳	埼玉県
	今まで自分を支えてくれた妻への感謝の気持ちを伝えたい。		夫婦喧嘩をやめた。		お互いを干渉しないが、心が通じるようになった。	61歳	鹿児島県
	いつまでも、年配者がトップの座にいと若い人が上にあがれない。		37年間続けていたボランティア活動を定年を機にやめた。		自分の時間を持てるようになった。	62歳	広島県
	男も料理のひとつづらひできたほうがいい。		男の料理教室に通い始めた。		たまに台所に立つと、妻に喜ばれる。	66歳	北海道

※一部、4ページ【しあわせ発見】に関する具体意見と重複する事例も掲載。

参考資料：「態度表明」の具体例 ～女性～

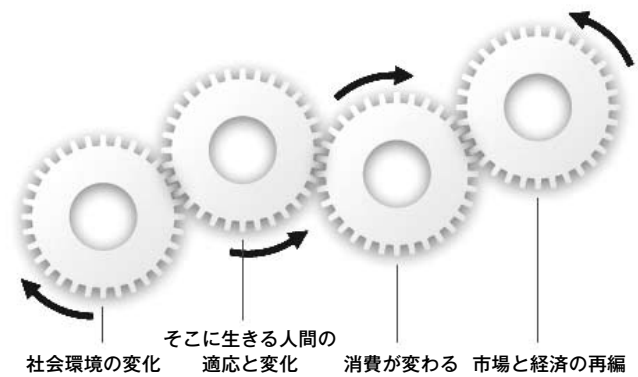
女性

	そもそも発想②	➡	おおやけ行動「 」	➡	しあわせ発見①	年齢	都道府県
10-20代	塾の授業についていけず、勉強する気力をなくしてしまうのって、なんか変。		進学塾に行くのをやめた。		自分で計画を立てて、勉強を進められるようになった。	19歳	大阪府
	いろんなことを身につけた方がいい。		手話を習いはじめた。		いろんな人と交流することができた。	19歳	福井県
	無趣味でいるって、なんか味気ない。		ドイツ語を再び習い始めた。		ドイツ語講座での新しい友人との出会い。付き合い半年でドイツへ留学した友人が「遊びにおいて」と言ってくれたので、本当にドイツに遊びに行った。	27歳	兵庫県
	外国人ともっと触れ合ってみたい。自分の世界を広げてみたい。		留学生に日本語を教えはじめた。		今まで気付かなかった日本語の面白さを発見した。いろんな国の人たちのお国事情や文化、言語の違いをたくさん知った。	29歳	愛知県
30-40代	自分をよく見せようとしても、めっきはすぐにはがれるもの。		本当は友達が少ないのに、友達が多いフリをするのをやめた。		ありのままの自分を受け入れることによって、非常に絆が深い友達だけを得ることができた。	32歳	北海道
	年末年始の準備で忙しく、寒いときに何も大掃除しなくてもいいのではないか。		年末の大掃除をやめた。		普段から手間をかけずに、きれいにする習慣や技術が身についた。	39歳	大阪府
	買い物など何かとクルマに頼ってしまい、運動不足になることが気になった。		クルマに乗らず、自転車で行動するようになった。		自分の住んでいる町について、いろいろな発見があった。	40歳	埼玉県
	夫婦は主従関係ではない。夫の機嫌が悪いのは私の責任ではない。		夫を主人と呼ぶことをやめた。また、夫婦喧嘩で夫の機嫌をとるのをやめた。		夫の態度が変わり、生活しやすくなった。自分の気持ちをしっかり見られるようになった。	42歳	愛知県
50-60代	結婚した時に用意してもらった着物を、ずっと着ていなかった。着られるものなら、着てみたいと思った。		着物の着付けを習いはじめた。		着物の奥深さ、日本文化について知りたくなり、今まで素通りしていた新聞や雑誌の記事を読み、新たな見方をするようになった。	50歳	兵庫県
	子供は少しずつ親離れさせるべき。		成人した子供達のために朝食を作るのをやめた。		朝から子供の世話を焼かなくてもよくなったので、精神的に楽になった。	51歳	北海道
	お土産を探す時間ももったいないし、返さなきゃと思うことも相手には負担だと思う。		旅行先で友人へのお土産を買うのをやめた。		旅行を楽しむ時間が増えた。	52歳	長野県
	今まで好きなことばかり習ってきたが、嫌いなことや苦手なことをやってもいいかなと思った。		嫌いなことへの挑戦で詩吟。嫌いな運動でピラティスをはじめた。		楽しくはないけど、がまんすると克服できることがわかった。	61歳	岡山県

※一部、4ページ【しあわせ発見】に関する具体意見と重複する事例も掲載。

「生活動力」とは

人口動態や経済の浮沈、技術革新など、様々な時代のインパクトを受け、生活者は常に変化を繰り返していきます。人は社会的インパクトへの適応性と弾力性を持った生き物です。変化する環境の中で、自らの意志と欲求により暮らしを改編していきます。そのことが新たな消費市場を生み出します。生活総研では、こうしたダイナミクスを「生活動力」と呼び、毎年、年初にその発表と提言活動を行っています。



生活動力 2009 第三の安心 —社会を修理する生活者—

自己防衛という【第一の安心】を経て、家族や地域との関係を固める【第二の安心】へ。そして社会全体の仕組みを立て直す【第三の安心】づくりへと、生活者は動き始めています。



生活動力 2008 手ごたえ経済 —実感をつかまえる幸福へ—

「漂う生活」から「根を張る生活」へ、「楽する生活」から「努力する、身体を使う生活」へ。生活者は生きている《実感》、【手ごたえ】の獲得という幸福に向かって歩き始めています。



生活動力 2007 多世帯社会 —世帯が変わる 世界が変わる—

これからの日本は、世帯総数、1世帯あたり人員、世帯形態の分布など、全てが大きく変化していきます。世帯の小口化と多様化は、大きなインパクトとなって生活者に影響をあたえます。